

米子駅南北自由通路等整備事業の状況について

令和元年10月7日
道路建設課

米子市が詳細設計を進めている米子駅南北自由通路のデザインについて、市の方針が示されましたので、報告します。

○米子駅南北自由通路デザインの市の方針（米子市の動き）

米子市は、米子駅南北自由通路のデザインについて、本年3月に都市経済委員会に商都をイメージした案1と、自然をイメージした案2を示し、その後米子市景観審議会で検討を行い、8月10日から市民の皆様から意見をいただくためのパブリックコメントを実施していました。

この度、前記パブリックコメントの結果や景観審議会で意見を参考に検討を行った結果、市の方針として「商都をイメージした案1」を基にデザインの深度化を図っていくことを、都市経済委員会（9月26日）に報告しました。

案1：商都



北側



南側

<市の方針>

○現在の米子駅は、約50年ぶりの改修であり、今後の50年、本市、また、西部圏域の玄関口としての顔として、新たな時代の象徴となる整備を行う。

- ・ 来訪者が最初に目にされる場所であり、地域の方にも米子駅と言えばこのデザインと
思っただけのランドマークとしての役割を持つデザインとしたい。



◎ 商都をイメージした案1をベースに、デザインの深度化を図る。

南北の街を繋ぐ架け橋となる都市軸を、長大なフレームで表す特徴のあるデザインとなっており、南北一体化を表す新たな時代の象徴（駅）としてふさわしいと考える。

(参考) 案2：自然



北側



南側